

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 5 年 12 月 14 日(2023.12.14)

【公開番号】特開 2022-29943(P2022-29943A)
【公開日】令和 4 年 2 月 18 日(2022.2.18)
【年通号数】公開公報(特許)2022-030
【出願番号】特願 2020-133558(P2020-133558)
【国際特許分類】
A 63 F 7/02(2006.01)
【FI】
A 63 F 7/02 320

10

【手続補正書】
【提出日】令和 5 年 12 月 6 日(2023.12.6)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

20

可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
前記有利状態に制御するか否かを決定可能な決定手段と、
表示手段と、
演出実行手段と、
を備え、

前記演出実行手段は、特定キャラクタを示す特定キャラクタ表示を表示する特別演出と、
該特別演出とは異なる演出であって第 1 特定演出と第 2 特定演出とを含む特定演出と、
を実行可能であり、
前記特別演出は、
前記特定キャラクタが眼を閉じている第 1 シーンと、
前記特定キャラクタが眼を開いている第 2 シーンと、
を含んで構成され、

30

前記第 1 シーンでは、前記特定キャラクタ表示を構成する表示色の種類数が第 1 数となる
態様で前記特定キャラクタ表示が表示され、
前記第 2 シーンでは、前記特定キャラクタ表示を構成する表示色の種類数が前記第 1 数より
も多い第 2 数となる態様で前記特定キャラクタ表示が表示され、
前記演出実行手段は、

前記有利状態に制御することが前記決定手段によって決定された可変表示であるときと、
前記有利状態に制御しないことが前記決定手段によって決定された可変表示であるときの
いずれであっても、前記特別演出を実行可能であり、
前記第 1 特定演出が実行されるときに第 1 態様で前記特別演出を実行可能であり、
前記第 2 特定演出が実行されるときに第 2 態様で前記特別演出を実行可能であり、
前記第 2 態様の前記特別演出を複数タイミングで実行可能であり、
前記特別演出が開始されることを示唆する特別演出示唆表示を表示する演出を実行可能で
あり、

40

前記第 1 態様の前記特別演出が実行されるときよりも前記第 2 態様の前記特別演出が実行
されるときの方が前記有利状態に制御される割合が高い、
ことを特徴とする遊技機。

50

【請求項 2】

可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
 前記有利状態に制御するか否かを決定可能な決定手段と、
 表示手段と、
 演出実行手段と、
 を備え、
 前記演出実行手段は、特定キャラクタを示す特定キャラクタ表示を表示する特別演出と、
 該特別演出とは異なる演出であって第 1 特定演出と第 2 特定演出とを含む特定演出と、を
 実行可能であり、
 前記特別演出は、
 前記特定キャラクタが眼を閉じている第 1 シーンと、
 前記特定キャラクタが眼を開いている第 2 シーンと、
 を含んで構成され、
 前記第 1 シーンでは、前記特定キャラクタ表示を構成する主要表示色が第 1 表示色となる
 態様で前記特定キャラクタ表示が表示され、
 前記第 2 シーンでは、前記特定キャラクタ表示を構成する主要表示色が前記第 1 表示色と
 は異なる第 2 表示色となる態様で前記特定キャラクタ表示が表示され、
 前記演出実行手段は、
 前記有利状態に制御することが前記決定手段によって決定された可変表示であるときと、
 前記有利状態に制御しないことが前記決定手段によって決定された可変表示であるときの
 いずれであっても、前記特別演出を実行可能であり、
 前記第 1 特定演出が実行されるときに第 1 態様で前記特別演出を実行可能であり、
 前記第 2 特定演出が実行されるときに第 2 態様で前記特別演出を実行可能であり、
 前記第 2 態様の前記特別演出を複数タイミングで実行可能であり、
 前記特別演出が開始されることを示唆する特別演出示唆表示を表示する演出を実行可能で
 あり、
 前記第 1 態様の前記特別演出が実行されるときよりも前記第 2 態様の前記特別演出が実行
 されるときの方が前記有利状態に制御される割合が高い、
 ことを特徴とする遊技機。

10

20

30

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

パチンコ遊技機やスロットマシンなどの遊技機において、キャラクタを示すキャラクタ
 表示が表示される演出を実行可能なものがあつた。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

この種の遊技機において、例えば、可変表示においてキャラクタが表示されたキャラク
 タ図柄が仮停止表示される否かを煽る煽り演出が実行可能とされ、煽り演出において、キ
 ャラクタ図柄が仮停止表示される前はキャラクタの眼が閉じており、仮停止表示されたと
 きに開眼するもの等があつた（例えば、特許文献 1 参照）。

40

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

50

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

【特許文献1】特開2017-38986号公報

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

10

上記特許文献1に記載の遊技機にあっては、遊技の興趣を向上させる余地があった。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、このような問題点に着目してなされたもので、遊技の興趣を向上させることができる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正7】

20

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

手段Aに記載の遊技機は、

可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

前記有利状態に制御するか否かを決定可能な決定手段と、

表示手段と、

演出実行手段と、

30

を備え、

前記演出実行手段は、特定キャラクタを示す特定キャラクタ表示を表示する特別演出と、

該特別演出とは異なる演出であって第1特定演出と第2特定演出とを含む特定演出と、を

実行可能であり、

前記特別演出は、

前記特定キャラクタが眼を閉じている第1シーンと、

前記特定キャラクタが眼を開いている第2シーンと、

を含んで構成され、

前記第1シーンでは、前記特定キャラクタ表示を構成する表示色の種類数が第1数となる

40

態様で前記特定キャラクタ表示が表示され、

前記第2シーンでは、前記特定キャラクタ表示を構成する表示色の種類数が前記第1数より

りも多い第2数となる態様で前記特定キャラクタ表示が表示され、

前記演出実行手段は、

前記有利状態に制御することが前記決定手段によって決定された可変表示であるときと、

前記有利状態に制御しないことが前記決定手段によって決定された可変表示であるときの

いずれであっても、前記特別演出を実行可能であり、

前記第1特定演出が実行されるときに第1態様で前記特別演出を実行可能であり、

前記第2特定演出が実行されるときに第2態様で前記特別演出を実行可能であり、

前記第2態様の前記特別演出を複数タイミングで実行可能であり、

前記特別演出が開始されることを示唆する特別演出示唆表示を表示する演出を実行可能で

50

あり、

前記第 1 態様の前記特別演出が実行されるときよりも前記第 2 態様の前記特別演出が実行されるときの方が前記有利状態に制御される割合が高い、
ことを特徴としている。

この特徴によれば、遊技の興趣が向上する。

手段 B に記載の遊技機は、

可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

前記有利状態に制御するか否かを決定可能な決定手段と、

表示手段と、

演出実行手段と、

を備え、

前記演出実行手段は、特定キャラクタを示す特定キャラクタ表示を表示する特別演出と、
該特別演出とは異なる演出であって第 1 特定演出と第 2 特定演出とを含む特定演出と、を
実行可能であり、

前記特別演出は、

前記特定キャラクタが眼を閉じている第 1 シーンと、

前記特定キャラクタが眼を開いている第 2 シーンと、

を含んで構成され、

前記第 1 シーンでは、前記特定キャラクタ表示を構成する主要表示色が第 1 表示色となる
態様で前記特定キャラクタ表示が表示され、

前記第 2 シーンでは、前記特定キャラクタ表示を構成する主要表示色が前記第 1 表示色と
は異なる第 2 表示色となる態様で前記特定キャラクタ表示が表示され、

前記演出実行手段は、

前記有利状態に制御することが前記決定手段によって決定された可変表示であるときと、
前記有利状態に制御しないことが前記決定手段によって決定された可変表示であるときの
いずれであっても、前記特別演出を実行可能であり、

前記第 1 特定演出が実行されるときに第 1 態様で前記特別演出を実行可能であり、

前記第 2 特定演出が実行されるときに第 2 態様で前記特別演出を実行可能であり、

前記第 2 態様の前記特別演出を複数タイミングで実行可能であり、

前記特別演出が開始されることを示唆する特別演出示唆表示を表示する演出を実行可能で
あり、

前記第 1 態様の前記特別演出が実行されるときよりも前記第 2 態様の前記特別演出が実行
されるときの方が前記有利状態に制御される割合が高い、
ことを特徴としている。

この特徴によれば、遊技の興趣が向上する。

手段 1 に記載の遊技機は、

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

表示手段と、

演出実行手段と、

前記有利状態に制御することを決定可能な決定手段と、

を備え、

前記演出実行手段は、

遊技における特定事象の発生を予告する予告表示を表示した後、前記特定事象が発生
する前に該特定事象の発生を告知する告知表示を表示する予告演出と、

前記有利状態に制御されるか否かを報知する報知演出と、

前記報知演出にて前記有利状態に制御されることが報知された後であり、前記有利状
態に制御されるまでのファンファーレ期間において実行されるファンファーレ演出と、を
実行可能であり、

前記有利状態は、第 1 有利状態と、該第 1 有利状態よりも遊技者にとって有利な第 2 有
利状態と、を含み、

10

20

30

40

50

前記予言演出の実行パターンとして、前記報知演出の実行に関連する第 1 時期に前記告知表示が表示される第 1 実行パターンと、前記ファンファーレ演出の実行に関連する第 2 時期に前記告知表示が表示される第 2 実行パターンと、があり、

前記予言演出が前記第 1 実行パターンにて実行されたときに前記有利状態に制御される割合は、前記予言演出が実行されないときに前記有利状態に制御される割合よりも高く、

前記予言演出が前記第 2 実行パターンにて実行されるときに前記第 2 有利状態に制御される割合は、前記予言演出が実行されないときに前記第 2 有利状態に制御される割合よりも高い、

ことを特徴としている。

この特徴によれば、予言演出において、予言表示は共通に行われる一方で、告知表示が第 1 時期と第 2 時期とのいずれで表示されるかにより示唆される内容が異なるとともに、第 2 時期に告知表示が表示されることによりファンファーレ演出後に開始される有利状態が第 2 有利状態であることに対する遊技者の期待感を向上させることができるので、遊技の興趣が向上する。

10

20

30

40

50